

# 島尻地区バドミントン秋季シード権大会 運営規定

## I. 全体の運営に関すること

- (1) 身なりの悪い生徒は大会に出場させないでください。試合中に発見した場合失格とします。
- (2) 事故防止及び試合進行をスムーズに進行するために、フロアー及び通路、玄関ロビー空きコート、コート間、コートサイドなどでの練習は原則として認めません。
- (3) **進行について**  
男女とも1日目は個人戦1回戦の後、団体戦を行います。  
2日目は個人戦を行います。女子は団体戦から行います。
- (4) 本部への質問・要望は監督のみが行えますが、抗議は出来ません。

## II. 試合に関すること

### 1. 試合全般

- (1) ベンチ入りは、選手、監督、マネージャー、コーチとする。コーチは教員又は県中体連の登録者で申込用紙に記載されたものとする。  
※生徒がベンチに2人入ることは原則として認めない  
\*監督、マネージャー、コーチが同時にベンチ入りできるのは島尻地区ローカルルールです。  
県大会では監督及びマネージャーまたはコーチとなりますのでご注意ください。
- (2) 得点は以下のようにする  
団体戦は21点2ゲーム先取、個人戦は、15点2ゲーム先取とするが、コート数や参加人数によっては変更もある。
- (3) インターバルは、以下の通りとする。  
・ゲームとゲームの間→120秒以内  
・ファイナルゲームでは8点になった時→60秒以内。
- (4) 試合のコール後3分以内に試合ができる準備をしてコートに入らない場合は、棄権とする場合もある。
- (5) 試合中の汗拭き・水分補給は、インターバル時以外原則として認めない。  
水分補給は、スクイズボトルを使用してください。
- (6) 監督・コーチによるアドバイスはインプレイでないとき認める。
- (7) インプレイ中の応援はベンチ・応援団とも認めない。
- (8) 競技服装は、日本バドミントン協会審査合格品（但し、ハーフパンツ着用の場合、膝にかからないもの）とする。
- (9) スパッツは、ズボンやスカートからはみ出さないこと。
- (10) ソックスは必ず着用し、白を基調としたものでくるぶしが隠れるものを履くこと。
- (11) ゼッケンは布地とし、上着の背面中央部に右図のような規格で学校名 15  
姓を黒または濃紺色の楷書で明記すること。同姓の選手がいる場合は 〇〇〇中  
名前の頭文字を記すこと。ゼッケンの無い者は没収試合とすることも 20  
ある。紙のゼッケンは認めない。ゼッケンは4点止めとする。 cm  
(12) はちまき、ヘアバンド、リストバンド、サポーター、テーピング 25～30 cm  
は認めるが、ブレスレット・ネックレス等の装飾品(スポーツ用品等  
も含む)及び、マスコット等を身につけてのプレーは認めない。
- (13) 競技にふさわしくない身なり(まゆ等)・服装及び、行為をしたものは、協議の上  
没収試合とすることもある。
- (14) **試合前のコートでの練習は原則として認めない。**  
※対戦相手が決まらず、待ち時間が長い場合は運営責任者の判断で練習を行える。
- (15) 試合のある選手以外でフロアーに入れるのは原則として、監督(引率者)、コーチ、マネージャーとする。ただし、応援はベンチに座ること。ベンチに座れない場合は監督・コーチ控え場所  
で待機する。
- (16) **試合中のけがまたは病気に対する対応について**  
**試合中のけがや病気についての応急処置は認めます。また、監督・選手は5分以内にプレーが継続可能か  
どうかの判断をお願いします。5分過ぎてもプレー続行が難しいと判断した場合は、棄権とします。**

〇〇〇中  
姓

## 2. 団体戦

- (1) リーグ戦は試合が決しても、最後まで試合を行う。
- (3) トーナメントで平行試合が行われている場合、試合が決した時点では一方が途中であっても試合を終了する。
- (4) 団体戦の審判(主審・線審)は試合が入っていない学校で行う
- (5) 得点係は各対戦チームで行う。
- (6) オーダーは対戦相手が決まってから15分程度で提出する。
- (7) 団体戦において試合が連続する場合は、原則として10分時間をあける。
- (9) リーグ戦における順位の決め方は以下の優先順位で行う
  - ①勝ち数の多いチーム
  - ②直接対決で勝っているチーム
  - ③取得マッチ数－喪失マッチ数でポイントの高いチーム
  - ④ゲームの勝ち数－負け数でポイントの高いチーム
  - ⑤総得点－総失点で総得点の高いチーム
  - ⑥キャプテンで抽選

## 3. 個人戦に関すること

- (1) **試合はトーナメント**で行う。
- (2) 個人戦の審判は敗者審判とする。初戦のみシード選手で審判を行う。
- (3) 個人戦の敗者審判は主審のみとし、線審と得点係は対戦校同士で行う。  
※順位決定戦の審判は対戦校同士で行う。
- (4) 個人戦において試合が連続する場合は、原則として15分時間をあける。

## III. その他(注意事項)

- (1) 体育館シューズで外に出ないこと。
- (2) 昼食時間は設けないので、各自試合の進行をみながら取ること。
- (3) ゴミは必ず持ち帰ること。ゴミ袋も各学校で準備して下さい。
- (4) 応援席での飲み物、食べ物の片付けを徹底すること。
- (5) 貴重品やラケットなどのバドミントン用品の管理は各学校及び、各自で徹底する
- (6) 体育館以外の施設(校舎等)には、絶対に入らないこと。
- (7) 応援はギャラリーで行うこと。

## IV. 選手の変更について

申込後、選手の変更がある場合は以下の通りで選手変更を行う。

- (1) 団体戦は大会当日の監督会まで変更を認める。ただし、選手変更用紙を提出すること。
- (2) 個人戦において、登録選手が病気・怪我等で試合が行えない場合は、棄権とする。  
(ダブルスの場合はオブザーバー参加とする)
- (3) 上記のいずれにしても、初日の監督会で申し出るものとする。

## V. 新人総体のシードについて

- (1) 今大会の結果より団体はベスト10・個人はベスト8をシードする。  
※個人戦の8シード選手は、新人総体での種目変更・組み替えを認めない。
- (2) 個人戦でベスト16の選手は新人総体で枠外登録として認める。  
但し、種目変更無し、ダブルス組み替えなしの場合とする